

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第30号 2010年7月

習志野市「ほたる野」ホタル復活計画

NORAの会 小野 岩男

私たちは1993年7月に地元農家の人たちに、習志野の田んぼでホタルが自生している事を聞き、早速仲間と毎夜仕事を終えた後田んぼへ集まり、観察を続けました。子どもの頃に見て以来、全くホタルには無縁の生活に明け暮れたサラリーマン達にとってその感触は「一人でも多くの人にホタルを見てもらいたい」そして「いつまでも習志野でホタルが見られる」事を望んだ熱い思いがボランティアグループの立ち上がりとなりました。

当時、周辺の田んぼは休耕田が点在し、草むらには

洗濯機やベッド、マットレス、トラックまで捨てられる粗大ごみの山でした。将来の環境を考えると休耕田を復田し、淡水生物にも快適な場にしようとの思いから休耕田の地主5人を説得し、復田に成功しました。早速翌年から子ども達を交え、春には「親子田植え会」、秋は草刈り、冬は皆で植



えて収穫したもち米で「親子もちつき大会」を実施しました。その間、夏に「ホタル祭り」を実施し、市内外から大勢のお客さんで賑わいました。集まったお客さんに自然環境の大切さを訴えながら10年間続けました。しかし、周辺の環境も大きく変化し、県道の鉄板を打ち込む工事や隣接する公園の工事、又住宅化が進み照明も明るくなる等、いろいろな条件も変わり、それまで豊富だった湧水が活動を始めて3、4年目位から無くなってしまいました。その頃から私達は将来への不安を感じ、年々減っていくホタルの数と、ホタル祭りに増え続ける観客とのギャップに自生を続ける限界を察し、新たな人工の水路を作り再生への準備を進めてきました。↑

ホタル祭りは10年間続けてきましたが、ほぼ絶滅の状況の為翌年より中止し、各地のホタル自生地を見学したり横須賀の大場博士の意見を聞いたりして、実験水路を維持してきました。そして昨年、なけなしの資金で始めて幼虫を100匹放流する事ができました。

‘09年3月31日に幼虫100匹を実験水田に放流後、5月15日に地面で幼虫3匹が光る様子を確認。そして6月17日について1匹のホタルの羽化した成虫が飛び立ったのです。その後毎日観察を続け、7月18日に最後の1匹を確認するまでの1ヶ月間、ホタルの復活を楽しむことができました。一度のチャレンジで成功する

か不安もありましたが、自信もありました。今までの絶滅に至った原因、そして復活するための準備、資金のないまま10数年たってようやくチャレンジできた喜びは感動そのものです。

今回特に気を付けた事は「ザリガニ」の徹底排除です。水路の出入り口には細かい網戸のネットの様な物をセットし、又水路の土も

ふるいにかけて、乾燥させた土をバーナーで一度焼き、水路の底には木炭を敷き、菖蒲やセリ等の水草を植え、カワニナやサカマキ貝を数回数百匹単位で放流を続け、準備した事が良かったと考えます。又、公園や街灯の光を防ぐため、斜面林の通路側に竹の垣根を作り光を最小限に抑えました。今年の目標は、昨年の成虫が交尾して新しい生命を宿してくれる事への期待と、別棟にセットした水路に放した100匹の幼虫の羽化に望みをかけ、自生への道を歩む事です。

習志野市でただ一ヶ所の自然保護地区1万平方メートルの復活はもう無理と思うが、3~5年後に「皆で見られるホタルの見学スペース」ができれば、と夢見て活動を続けたいと思います。

ホタルのためのザリガニつり

子どもネット八千代 村岡 真澄

“ザリガニをつり、駆除する事でホタルの幼虫を守る”という趣旨で始めた子どもネット八千代主催「ホタルのためのザリガニつり」は今年で4回目です。好天に恵まれた春爛漫の4月10日（土）に開催しました。

当日は子どもたちはもちろん、大人も真剣そのもの。スルメをえさに釣り上げるたび、あちらこちらで嬉しそうに誇らしそうな歓声や笑顔があふれていました。幼児から大人まで総勢63人で過去最高の199匹の駆除に成功。地元八千代の自然の中、ホタルを守ろう！と集まった皆で年齢を超えた素敵な交流、経験ができた一日となりました。

今は家の中でさえゲーム機を使用すれば釣りができる時代です。

けれど、風のこちよさや緑の香りや色、日差しの暖かさや水辺の音、まして獲物がかかったときの指先に伝わる感触や、釣り上げる時の生物との微妙な駆け引きは、バーチャルでは決して体験することはできません。子ども時代に数多くの本物に触れ、五感で体験することの大切さを感じてほしい、覚えておいてほしい、そして自然を大切に慈しむ心を育ててほしい。そんな思いで今後も「ホタルのためのザリガニつり」に取り組んでいきたいと思えます。夏の夜空にたくさんのホタルが舞いますように、の願いをこめて。

子供たちの感想

○ザリガニは、ホタルの幼虫をえさとしています。そのザリガニを捕まえて、ホタルを増やす作戦です。楽しみながらホタルを増やす思いつきはいいものだと思います。僕は最高記録をだしたので、嬉しかったです。 優太

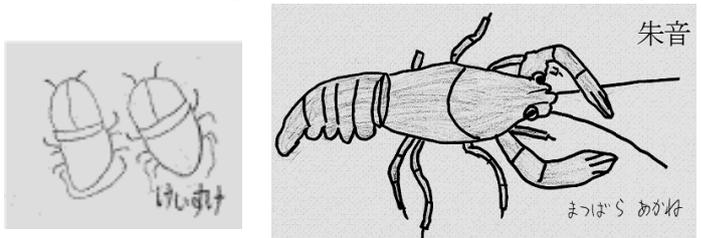


○ザリガニが、ホタルの子どもを食べてしまうので、それを防ぐためにザリガニつりに協力しました。皆が協力する事は、すごくいい事だと思います。 慧祐

○ザリガニはつれなかったけど、カエルやバッタを捕まえて小さな男の子と遊びました。

歩いている時もいろんな植物が生えていて、自然がいっぱいなんだなと思いました。来年はザリガニを釣り上げたいです。 遥果

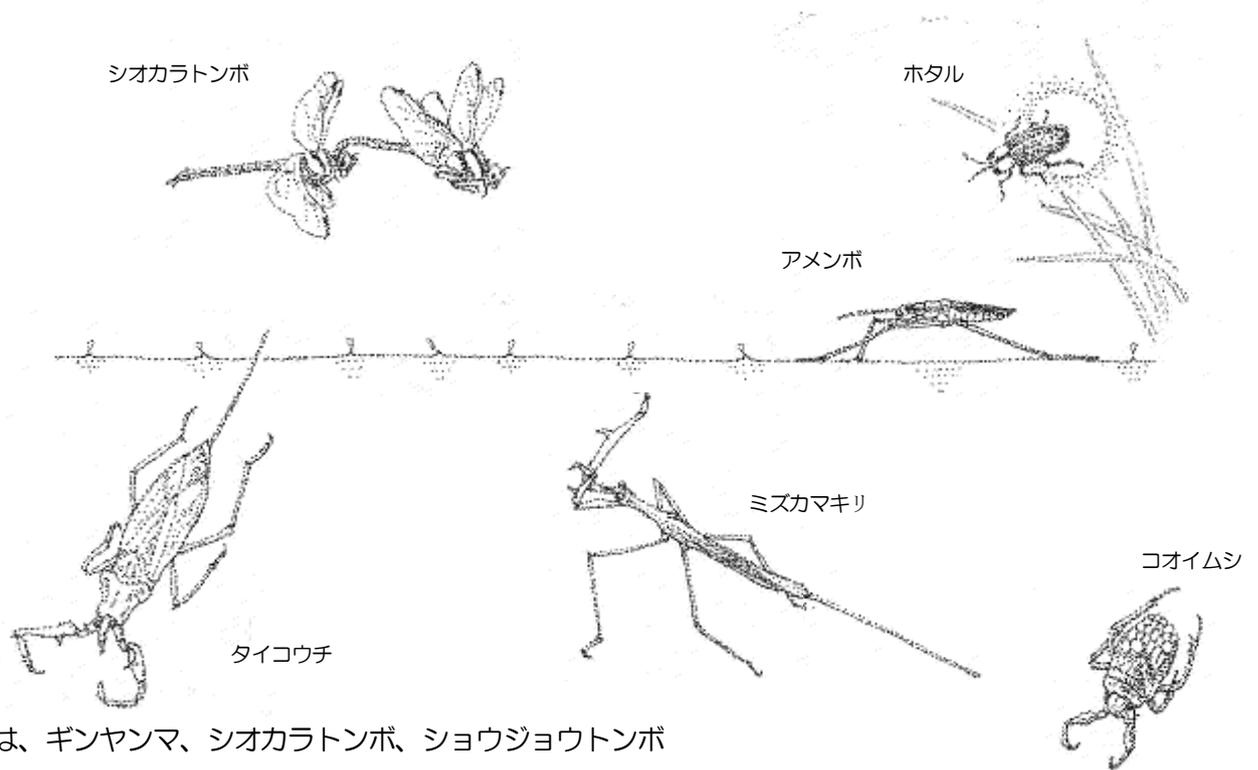
○わたしは4月10日ザリガニつりに行きました。ザリガニは10匹つりました。野草探しのときに「白タンポポ」があったのでびっくりしました。来年は20匹つりたいです。来年が楽しみになってきました。



○野草を食べました。いたどりが、すっぱくておいしかったです。ザリガニは2匹つれました。ホタルがいっぱい見られるといいな。 優里



きっずコーナー 里の湿地にはどんな虫がいるかな？（夏）



水の上では、ギンヤンマ、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ
水面では、アメンボ、シマアメンボ
水中には、タイコウチ、コオイムシ、ミズカマキリ
草むらには、バッタ、ショウリョウバッタ、イナゴ
夜になると、ヘイケボタルが飛んでいます

（文：くわはた 絵：もり）

四季折々、団地の芝生の草花

ホタルメイト 添田マスコ

米本団地も昭和45年の入居から40年が経過しました。昭和50年代のピーク時と比べ、今人口は半減し、15歳以下の子供は当時の8分の1と激減、ひたすら「少子・高齢化」が進行する地域となっています。団地内の樹木も遊歩道の銀杏並木や欒、楠なども大木になり、心地よい木陰を作ってくれています。団地の芝生も年3回ほど刈り込まれますが、いつの頃からかこの芝生の中に結構いろいろな草花が咲き、私たちの目を楽しませてくれます。

早春まだ風も冷たく枯芝の頃、ロゼット状のタンポポがそこそこに黄色いボタンのような花を咲かせ、灌木の根元の陽だまりではオオイヌノフグリ、ハコベ、ナズナ、ホトケノザや姫踊子草が春の訪れを感じさせてくれています。そして、芝生が青む頃になるとスミレの群生が見られ、ヘビイチゴ、カキドオシ、ムラサキケマン、ヒメジョオン、ノビル、キジムシロ、ハルノゲシ、カラスノエンドウ、ハハコグサ、チチコグサ、ジャガ等と数え上げればきりのないほどいろいろ

ろな野草が次々と競い咲き、まさに春爛漫。そういえば、以前は何箇所かに必ず生えていたミヤコグサは見られなくなりました。

そして初夏になると、クローバーの白い花畑があちこちに出来て四つ葉を探している姿をよく見かけます。目立たないが薄紫色のニワゼキショウの可愛い花やアカバナ、ドクダミの花もそこらじゅうに咲きます。嫌う人もいるが、白い十字の花弁の花はそれなりに可愛い。芝生にはピンクの撫子花やキキョウソウなどが一斉に咲き、灌木の茂みの陰にホタルブクロやツユクサ、所々にスイカズラや卵の花が咲くのも嬉しいですね。

秋風が吹き始めると、決まって芝生にツルボの淡いピンクの花が無数に出現する。イヌタデ、ヌスビトハギ、ミズヒキ、ツキミソウなどなど。このように季節を感じられる草花が楽しめます。特に珍しいものではなく、どこにでも普通に咲くものが団地でも咲くというだけのことですが、私たちには貴重な自然です。



7～9月のスケジュール



◎ ナイトウォッチングについて

ホテルのすみやすい環境をつくるために、今年は湿地を田んぼに整備することに力を入れていますので、申し訳ありませんが、総会でお知らせしたナイトウォッチングは中止にさせていただきます。

◆ほたるの里バス見学会のご案内◆

多古町の桜宮自然公園と富里の谷津田に行きます。昼食は多古の道の駅で取ります。

日 時：9月8日（水）

9時～17時まで※雨天決行

集合場所：八千代市役所玄関前（午前8時45分集合）

対 象：ホテルメイトもしくはメイト希望者

参加費：1000円（メイト）、1500円（メイトでない方）

応募締め切り：8月30日（月）

募集人数：先着20名

持ち物：帽子、水筒、動きやすい服装、雨具

※参加希望の方は事務局へ電話、FAXでお申し込みください。FAXでお申し込みの際は、お名前、ご住所、ご連絡先、参加人数をご記入ください。



★ 里の環境整備

ほたるの里で、生きものが棲みやすい環境づくりをしています。主にへイケボタルの水路づくりをします。たくさんのご参加をお待ちしております。

日時：7月24日（土）及び8月28日（土）

午前9時から11時ごろ

9月25日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：長袖、長ズボン、長靴、帽子、飲み物、軍手、汚れてもよい服装で

■ ザリガニ釣り大会

ほたるの里でザリガニ釣りを行います。入賞者にはプレゼントあり！ 家族でご参加ください。

日時：8月28日（土）午前9時から11時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：釣竿、エサ、バケツなど

注意：暑いので帽子や飲み物など、

各自で暑さ対策をして下さい。

八千代市昆虫展開催！



八千代市郷土博物館（村上）で、八千代市環境保全課主催の昆虫展と竹細工教室を開催いたします。カブトムシやメダカなどの展示を予定しています。ぜひご来場ください。

昆虫展の期間：7月28日（水）～8月5日（木）

場所：八千代市郷土博物館（月曜休館）

八千代村上1170-2 ※イズミヤより徒歩1分

◎ 竹細工教室

竹を使って水鉄砲や竹トンボを作ります。親子でも参加できます。

日時：7月31日（土）午後1時～4時

対象：市内の小学4年生から大人の方 先着20人

費用：保険代として50円

申込：7月20日までに市役所環境保全課

Tel 483-1151へ



ホテルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホテルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時に受け付けているほか、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円

窓 口：120円

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局